

# 第11回防災運動会 実施報告書

社会福祉法人岐阜アソシア

視覚障害者生活情報センターぎふ

## <概要>

日時：平成29年10月14日（土）午前10時～午後2時30分

会場：岐阜県立岐阜盲学校体育館

参加人数：競技参加者・来賓・スタッフ他合計 約150名(内、競技参加者 約110名)

主催：社会福祉法人岐阜アソシア

共催：岐阜県・岐阜県立岐阜盲学校・一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会

協力：NPO法人レスキューストックヤード

岐阜県聴覚障害者情報センター

後援：岐阜市

岐阜中警察署

岐阜中消防署

京町自治会連合会

明德自治会連合会

日本防災士会岐阜県支部

協賛（五十音順）：

株式会社市川工務店

OKB大垣共立銀行岐阜支店

オオサキメディカル株式会社

奥長良川名水株式会社

尾西食品株式会社

兼山印刷株式会社

河村製紙株式会社

株式会社キクチメガネ

株式会社コガネパン

株式会社十六銀行西野町支店

生活協同組合コープぎふ

株式会社ハウスセンター中部

株式会社藤田商店

<プログラム(敬称略)>

09時30分～ 受付開始(チーム分け)

10時00分～ 開会式・オリエンテーション・ラジオ体操

司会：篠田 露子

手話通訳：岐阜県聴覚障害者情報センター 田口小代美、豊田敦子

主催者挨拶：社会福祉法人岐阜アソシア 理事長 洪澤一郎

共催者挨拶：岐阜県 危機管理部防災課 課長 渡辺幸司

来賓挨拶：

岐阜市 障がい福祉課 課長 真鍋 晃

岐阜県教育委員会 特別支援教育課長補佐兼特別支援環境整備係長 松原勝己

審査員紹介：

審査委員長 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

副審査委員長 明德自治会連合会 会長 上野裕道

岐阜県 障害福祉課 障害福祉基盤整備企画監 各務辰也

岐阜中消防署 署長 藤本和男

岐阜市 障がい福祉課 係長 山田哲也

岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

開会宣言：一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会 副会長 溝口広美

防災訓練について：NPO法人レスキューストックヤード 岡田雅美

競技説明：視覚障害者生活情報センターぎふ 主任 神 尚喜

ラジオ体操：日本防災士会岐阜県支部

競技実況・解説：前田光雄、岡田雅美

10時40分～ 種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験

11時10分～ 種目2 あんしん・安全 搬送体験

11時40分～ 昼食（随時）、喫茶、展示体験コーナー

13時20分～ 種目3 みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー

14時00分～ 整理体操

14時10分～ 表彰式・閉会式

講評：岐阜中消防署 署長 藤本和男

表彰式：優勝 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

2位 明德自治会連合会 会長 上野裕道

3位 岐阜県 障害福祉課 障害福祉基盤整備企画監 各務辰也

4位 岐阜市 障がい福祉課 係長 山田哲也

特別賞 岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

閉会宣言 実行委員長 社会福祉法人岐阜アソシア 常務理事 山田智直

14時30分～ 後片付け

<展示体験コーナー・シールラリー>

①ガイドヘルプ体験

②担架づくり体験

③仮設トイレ体験『さわって知るトイレ』

④津波・大規模風水害対策車（岐阜中消防署）

⑤煙体験ハウス（岐阜中消防署）

⑥制服着衣体験（岐阜中警察署）

※地震体験車（岐阜中消防署）は雨天のため中止。

## <今回のポイント>

### (1) 屋内(体育館)にて競技を行いました

当日雨天予報のため、会場を体育館に変更して開催しました。岐阜盲学校のご協力により内容は屋外と同じ競技を行いました。競技は各1チームずつ行いタイムを計測しました。昼食は「種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験」にて、参加者全員で協力して準備をし、ごはん、メロンパン、缶詰、お水を体育館・ランチルームなどで召し上がっていただき、各種体験も楽しんでいただきました。

### (2) 手話通訳者の導入について

今回も手話利用者の参加の可能性を考え、手話通訳をお願いしました。これは視覚障害と同様に情報障害である聴覚障害の方が、情報を共有し内容が理解できるよう配慮したものです。

前回に続き今回も岐阜県立岐阜聾学校の生徒の方々の参加があり充実したものになりました。

### (3) 展示体験コーナー、シールラリーについて

今回は昼食・展示体験コーナーの時間を長めに取り、各コーナーを巡って集めるシールラリーをはじめに行いました。4つ以上シールを集めると本部にて景品をお渡しするなど好評でした。

岐阜中消防署のご協力により、県下に1台しかない「津波・大規模風災害対策車」の展示や「煙体験ハウス」。岐阜中警察署のご協力により「制服着衣体験」を行いました。雨天のため、予定されていた「地震体験車」は中止となりましたが、多くの方が展示を楽しまれました。

また、当センター職員(歩行訓練士)の指導により視覚障がい者の誘導法を学ぶ「ガイドヘルプ体験」を行い、その他「担架づくり体験」、「仮設トイレ体験」は障がい者の方がゆっくりと体験できるよう工夫して行われました。

### (4) 競技内容について

今回は例年行っている搬送リレーを更に安全に配慮した「安心・安全搬送体験」として行いました。また、今回新たな競技として「アルファ米みんなで炊き出し体験」を行いました。一度に50人分をつくることのできる「アルファ米炊き出しセット」を用い、チームごとに炊飯から配

膳まで実際の避難所と同様に体験しました。ごはんを器に人数分盛り付けることの難しさは、実際に体験してみないと分からず貴重な体験だった。という声をいただきました。

それに加え、毎回好評のバケツリレーの3種目を行いました。

毎回、テーマを持って行ってありますが、今回は「障がいのある方の体験への参加」をテーマとしました。競技中は、納得いくまで体験できなかった参加者も、展示体験コーナーの時間の中で、ひとりひとりが理解するまで説明を受け、体験することができました。またシールラリーの開催で、楽しく各コーナーを回っていただくことができました。

全ての競技について、実践的にかつ安全に競技に取り組み、競技者全員が楽しく行うことができました。

#### <開催における報道など>

10月17日 チャンネルCCNエリアトピックス放送

#### <まとめ>

今回も様々な団体・企業の皆様に支えられ、雨天にもかかわらず晴天時と同じ競技を行い、盛況のうちに終了することができました。

11回目を迎えた「防災運動会」が、視聴覚障害者情報提供施設による障がい者と健常者の架け橋として継続することで、全国的にも防災への理解が広まり、定着してきたことを感じました。

今後とも、障がい者・健常者がともに理解し合う「自助・共助・公助がバランスよく支え合う地域づくり」を目指し、他の防災イベントとは一線を画した行事として継続できるよう努めていきたいと考えております。

## 第11回防災運動会 写真資料

### ① 正面玄関（共催・協力・後援・協賛案内）



### ② 開会式(当法人・理事長挨拶)



③種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験



④種目2 あんしん・安全 搬送体験





⑤展示体験コーナー（津波・大規模風水害対策車、煙体験ハウス）



⑥種目3 みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー



⑦閉会式(優勝 ピンクチーム)

